

**Nordkalk**

安全データシート  
珪灰石 : Nordkalk W-series,  
Nordkalk W, Nordkalk Wicroll,  
Nordkalk NorWoll

安全性データシートは、欧州議会及び化学物質の登録、評価、認可及び制限（REACH）に関する理事会の規則（EC）第1907/2006号を修正した2020年6月18日付けの欧州委員会規則（EU）第2020/878号に準拠している。

## セクション1：化学物質/混合物及び会社情報

発行日 2014年4月1日

改訂日 2023年9月8日

### 1.1.製品情報

製品名 珪灰石 : Nordkalk W-series, Nordkalk W, Nordkalk Wicroll, Nordkalk NorWoll

別名 ケイ酸カルシウム

REACH登録番号・コメント この物質は、REACH規則の第2(7)(b)条及び付属書Vに従って登録する義務を免除されている。

CAS番号 13983-17-0

EC番号 237-772-5

### 1.2.物質又は混合物の確認された用途及び推奨されない用途

物質/混合物の用途 珪灰石粉の主な用途（以下の限りではない）：釉薬、セラミック成形体、塗料・プラスチック用フィラー、溶接電極、冶金粉末、セメントファイバーボード、ケイ酸カルシウム板・レンガ、低温耐火材、プラスチックやシーリング材の補強充填剤、路面標示塗料やブレーキライニングの補強充填剤、ガスケット。

主な用途 PC-TEC-OTH 化学的または技術的プロセス用のその他の製品

### 1.3.安全データシート供給者情報

会社名 Nordkalk Oy Ab

住所 Skräbbölevägen 18

郵便番号 FI-21600

都市 パルガス

国家 フィンランド

電話番号 +358 20 753 7000

電子メール [sds@nordkalk.com](mailto:sds@nordkalk.com)

ウェブサイト [www.nordkalk.com](http://www.nordkalk.com)

### 1.4.緊急時の電話番号

## 緊急時の電話番号

電話番号：119

説明：日本での緊急番号。24時間営業。

電話番号：+81 (0)72 727 2499

説明：日本中毒情報センター24時間営業。

## セクション2：危険有害性情報

## 2.1.物質又は混合物の分類

## CLP分類、注記

この製品は、CLP/GHS規則（EC）第1272/2008号に従って、危険有害性があると分類される基準に合致していない。

## 2.2.ラベル要素

## 他のラベル情報（CLP）

ラベルなし。この製品は、現在の規制に従って、危険有害性があると分類される基準に合致していない。

## 2.3.他の危険有害性

## PBT / vPvB

PBT及びvPvB 評価の結果については、第12.5項を参照してください。

## 健康への影響

取扱い・使用方法（研磨、乾燥等）に応じて浮遊性吸入性結晶質シリカ（石英・クリストバライト）が生成される場合がある。吸入性結晶質シリカの粉じんの長期及び（又は）多量の吸入は、一般的に珪肺症と呼ばれる、肺線維症を引き起こす場合がある。珪肺症の主な症状は、咳や息切れである。

## 他の危険有害性

内分泌攪乱性質：報告なし。

## セクション3：組成/成分情報

## 3.1.物質

物質	情報	分類	含有量	注記
珪灰石	CAS 番号：13983-17-0 EC番号：237-772-5	CLP分類、注記：分類され ていません。	> 87 %	
石英（細粒分）	CAS 番号：14808-60-7 EC番号：238-878-4	STOT RE 1; H372	< 1 %	

## 混合物の説明

生成物は、不純物として1%未満の石英、結晶質シリカ（細粒分）を含有する（CAS番号：14808-60-7）。

## 物質に関するコメント

すべての危険有害性情報の全文は、第16項に表示されている。

## セクション4：応急措置

## 4.1.応急処置の説明

## 全般

状況が明確でないか、又は症状が続く場合は、医師の診察を受ける。

## 吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。症状が現れた場合は医師の診断を受ける。

## 皮膚に触れた場合

応急処置は必要としない。

## 目に入った場合

まぶたを開いたまま、すぐに数分間多量の水で洗い流す。目の刺激又は他の症状が

続く場合は、医師の診察を受ける。

#### 飲み込んだ場合

応急処置は必要としない。口をすすぎ、1~2杯の水を飲ませる。症状が現れた場合は医師の診断を受ける。

### 4.2.最も重要な急性及び遅発性の症状及び影響

#### 急性の症状及び影響

不明。

#### 遅発性の症状及び影響

吸入性結晶質シリカの粉じんの長期及び（又は）多量の吸入は、一般的に珪肺症と呼ばれる、肺線維症を引き起こす場合がある。珪肺症の主な症状は、咳や息切れである。

### 4.3.必要に応じた速やかな医師の手当て及び必要とされる特別な処置の指示

#### 他の情報

対症的な治療

## セクション5：火災時の措置

### 5.1.消化剤

#### 適切な消火剤

周辺の火災時に消火剤を使用する。

#### 不適切な消火剤

不明。

### 5.2.物質又は混合物から生じる特別な危険有害性

#### 火災及び爆発の危険性

不燃性。

#### 危険な燃焼生成物

不明。

### 5.3.消火を行う者に対する注意事項

#### 個人用保護具

適切な保護具及び自給式呼吸器具を着用する。

## セクション6：漏出時の措置

### 6.1.人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

#### 一般的な措置

浮遊粉じんの発生を避ける。

#### 個人用保護具

適切な個人用保護具を着用する。粉じんの吸入を避ける。

### 6.2.環境に対する注意事項

#### 環境に関する予防措置

特別な措置は必要としない。

### 6.3.封じ込め及び浄化の方法及び機材

#### 浄化

浮遊粉じんの発生を避ける。乾燥状態での清掃を避け、水噴霧システム又は真空清掃システムを使用する。適切な容器に収去して廃棄する。

### 6.4.参照すべき他の項

他の指示	安全取扱い：第 7 項を参照してください。 個人用保護具：第 8 項を参照してください。 廃棄物処理：第 13 項を参照してください。
------	---

## セクション7：取扱い及び保管上の注意

### 7.1.安全取扱い注意事項

取扱い	十分な換気を確保する（必要に応じて局所排気装置を使用する）。粉じんの吸入を避ける。取扱い時は、適切な個人用保護具を着用する。（第 8 項を参照）注意して取り扱って、こぼれや漏れを避ける。
-----	---

### 保護措置

エアロゾル及び粉じんの発生を避ける措置 粉じんの形成を避ける。

一般的な労働衛生上の注意事項 産業衛生・安全性の優れた実践に従って取り扱う。製品の使用時に飲食はしない。飲食前や使用後は手を洗う。汚染した衣類を脱ぎ、再着用する場合に洗濯する。

### 7.2.配合禁忌を含む、安全な保管条件

保管 浮遊粉じんの発生を最小化し、積み卸し作業時の風による飛散を防ぐ。

避けるべき条件 混触危険物質については、第10.5項を参照してください。

### 安全な保管条件

包装互換性 元封包物又は容器に保管する。

保管室および容器の要件 容器は密閉する。偶発的な破裂を防止するために、包装された製品を保管する。

### 7.3.特定の最終用途

特定の用途 セクション1.2.に記載されている用途

## セクション8：暴露防止及び保護措置

### 8.1.制御パラメータ

物質	情報	暴露上限	TWA年
石英	CAS 番号：14808-60-7	原産国：欧州連合 制限値（8時間）：0.1 mg/m <sup>3</sup> 出典：指令2019/130/EU コメント：シリカ、結晶質 粒子画分：吸入性	

石英 CAS 番号：14808-60-7 原産国：日本  
コメント：E=3,0/(1, 19Q+1)  
E=管理濃度  
Q=遊離シリカの含有量（パーセント）  
砂と石、岩石、鉱石（鉱物）、金属または炭素の粉じん。

粉じん 原産国：日本  
コメント：3,0 x (1,19%遊離シリカ)  
管理濃度 砂と石、岩石、鉱石（鉱物）、金属または炭素の粉じん。  
粒子画分：吸入性

## 8.2. 暴露防止

### 暴露防止の予防措置

#### 適切な技術的管理

職業暴露限界値を守り、吸入のリスクを最小化する。

#### 暴露防止の組織的措置

粉じんの発生しやすい区域に人を近付けさせないなどの組織的な措置を講じる。

#### 暴露防止の技術的措置

十分な換気を確保する。必要に応じて局所排気装置を使用する。

### 目/顔の保護

#### 適切な目保護具

ぴったりと合う保護眼鏡を着用する。

### 手の保護

#### 適切な手袋の種類

通常の使用条件下では不要である。皮膚炎や敏感肌を抱える作業員：適切な耐薬品性、不浸透性の手袋を着用する。

#### 適切な材料

手袋の選択に関する具体的なアドバイスについては、製造元にお問い合わせください。

#### 追加の手の保護措置

必要であれば：製品を取り扱う前にバリアクリームを塗る。

### 皮膚の保護

#### 適切な防護服

通常の使用条件下では不要である。皮膚炎や敏感肌を抱える作業員：適切な防護服を着用する。

### 呼吸保護

#### 必要な呼吸用保護具

暴露限界値以下に空气中濃度を維持することができない場合、又は粉じんが発生

した場合は、適切な呼吸用保護具を着用する。

**推奨タイプ**

粒子フィルタマスク FFP2 - FFP3 (EN 149)

**適切な環境暴露管理****環境暴露管理**

風による飛散を避ける。

**セクション9 : 物理的及び化学的性質****9.1.物理的及び化学的性質に関する基本情報**

物理的な状態	固体。粉。
色	白。
臭い	無臭。
臭いの閾値	コメント：関係なし。
pH	値：9.5 温度：20 ° C 濃度：400 mg/l
融点/融点範囲	値：> 1400 ° C
沸点/沸点範囲	コメント：未定。
引火点	コメント：非該当
引火性	引火性なし。
爆発限界	コメント：非該当
蒸気圧	コメント：非該当
蒸気密度	コメント：非該当
粒子特性	コメント：粒形：針状。
密度	値：2,85 g/cm <sup>3</sup>
溶解度	中：水 値：~ 0,2 g/l 方法：ISO 787/8
分配係数：n-オクタノール/水	名：フッ化水素酸 コメント：溶解性。 コメント：非該当
自然発火温度	コメント：非該当
分解温度	コメント：未定。
粘度	コメント：非該当

**9.2.他の情報****9.2.2.その他の安全性特性**

コメント 報告なし。

**セクション10 : 安定性及び反応性**

## 10.1.反応性

反応性 通常の使用および保管条件下で反応なし。

## 10.2.化学的安定性

安定性 通常の保管条件下で化学的に安定している。

## 10.3.危険有害反応の可能性

危険有害反応の可能性 通常の使用および保管条件下で危険有害反応なし。

## 10.4.避けるべき条件

避けるべき条件 不明。

## 10.5.混触危険物質：

避けるべき材料 混触危険物質なし。

## 10.6.危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物 危険有害な分解生成物なし。

## セクション11：毒性情報

### 11.1.規則（EC）No 1272/2008に定義された危険有害性クラスに関する情報

他の毒物学的データ 急性毒性があると分類される基準に合致していない。

#### 健康被害に関する他の情報

皮膚腐食性/刺激性の評価、分類 皮膚腐食性や刺激性があると分類される基準に合致していない。

眼に対する損傷/刺激性の評価、分類 眼を傷めるものであるか、又は眼刺激性があると分類される基準に合致していない。

感作性 呼吸器感作性又は皮膚感作性があると分類される基準に合致していない。

変異原性 変異原性があると分類される基準に合致していない。

発がん性、他の情報 発がん性があると分類される基準に合致していない。（IARC国際がん研究機関）

生殖毒性 生殖毒性があると分類される基準に合致していない。

特定標的臓器毒性の評価-単回暴露、分類 単回暴露で特定標的臓器毒性があると分類される基準に合致していない。

特定標的臓器毒性の評価-反復暴露、分類 反復暴露で特定標的臓器毒性があると分類される基準に合致していない。しかしながら、粉じんを含有する吸入性結晶質シリカへの長期及び/又は多量の暴露は、結晶質シリカの吸入性微粒子の肺沈着によって引き起こされる珪肺症、結節性肺線維症を引き起こす可能性がある。

吸引性呼吸器有害性の評価、分類 吸引性呼吸器有害性があると分類される基準に合致していない。

### 11.2 他の情報

内分泌攪乱 成分：内分泌攪乱性は報告されていない。

他の情報 他の健康影響は報告されていない。

## セクション12：環境影響情報

### 12.1.毒性

生態毒性 そのようなものとしての利用可能な環境有害性データなし。

### 12.2.残留性及び分解性

残留性及び分解性の説明/評価 関係なし

### 12.3.生物蓄積性

生物蓄積、評価 関係なし

### 12.4.土壌中の拡散性

拡散性 土壌中の拡散性は僅かである。

### 12.5.PBT及びvPvBの評価結果

PBT及びvPvBの評価結果 現在のEU基準に従ってPBT/vPvB物質であると分類される基準に合致していない。

### 12.6.内分泌攪乱性質

内分泌攪乱性質 成分：内分泌攪乱性は報告されていない。

### 12.7.他の有害影響

追加の環境影響情報 環境有害性があると分類される基準に合致していない。環境への放出を避ける。

## セクション13：廃棄上の注意

### 13.1.廃棄物処理方法

化学物質の適切な廃棄方法 包装中の残留物からの粉じんの形成を避ける。空の容器は、リサイクル又は廃棄のために承認された廃棄物処理施設に処理される。

汚染された包装の適切な廃棄方法 使用済みの包装は密閉容器に保管する必要がある。容器を再利用しない。

他の情報 廃棄は、地方の規則に従って実施されなければならない。

## セクション14：輸送上の注意

### 14.1.国連番号

コメント 輸送用であると分類される基準に合致していない。

### 14.2.国連正式輸送品名

### 14.3.輸送における危険有害性クラス

#### 14.4.包装等級

#### 14.5.環境有害性

コメント 環境有害性があると分類される基準に合致していない。

#### 14.6.使用者のための特別な注意

使用者のための特別な安全上の注意 特別な安全上の注意なし。

#### 14.7.IMO規則による大量海上輸送

##### ICAO/IATA 他の情報

他の交通機関、一般 記録されたデータなし。

### セクション15：適用法令

#### 15.1.本物質に対する安全、健康及び環境に関する規則/法律

法律及び規制 日本：  
644物質- 労働安全衛生法（ISHL）；  
562物質 - PRTR 法；  
有毒有害物質規制法（PSSCL）；  
GHSに基づく化学物質のJIS 7252-2014分類

#### 15.2.化学的安全性の評価

化学物質安全性評価は実施されたか？ いいえ

化学的安全性の評価 この製品はREACH登録を免除されているので、供給者によるこの物質の正式な化学物質安全性の評価は行われていない。

### セクション16：他の情報

関連するHフレーズのリスト（セクション2及びセクション3） H372長期又は反復暴露により臓器に障害を引き起こす

CLP分類、コメント 国連GHS改版10に基づく分類

訓練 安全データシートを読む。  
作業者は、結晶質シリカが存在を知らされなければならない。作業者は、この製品の適切な使用方法及び取扱い方法についての 訓練を受けなければならない。

主な参考文献及びデータソース SDSの前版本 2019年5月28日  
GESTIS 物質データベース - 国際限度値（IFA、ドイツ連邦共和国労働安全衛生研究所）

略語および頭字語 PBT: 残留性、生物濃縮性、毒性物質。vPvB：非常に持続的、非常に生体蓄積性の高い

追加、削除、又は修正情報 2019年5月28日：安全データシートを改訂した。  
2023年9月8日：REACH規則の附属書II([EU] 2020/878) に従って更新。

バージョン 1

コメント 免責条項

この安全データシート (SDS) は、改訂されたREACH規則 (EC 1907/2006 ; 第31条及び附属書II) の法規定に基づいている。その内容は、物質の適切な予防的取扱いガイドとして意図されている。このSDS受領者は、それに含まれる情報が、使用、処理、廃棄、又は連絡できるすべての人に読まれ理解されることを保証する責任がある。このSDSに記載されている情報及び説明は、発行日における科学的小および技術的知識の現状に基づいている。技術的性能、特定の用途への適合性を保証するものではなく、法的に有効な契約関係を確立するものでもない。このSDS版本は、前版のすべてに優先する。